

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫

印省略

平成28年度 実地研修会（震災復興の現状）開催について ～復興に向けた現在の取り組み～

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成28年7月14日（木）～15日（金）に標記実地研修会を開催いたします。

本実地研修会では、東日本大震災の復旧・復興への対応を視察するとともに、復旧・復興への様々な手法（CM方式や事業促進PPPなどの活用）や官公庁等技術者の貴重な体験について学ぶことを目的としています。

なお、本実地研修会は、国土交通省(予定)の後援のもと実施することとしています。

①日 程：別紙日程表のとおり

②募集人数：45名

注) 宿舎などの現地の条件により人数制限があります。

③研修料：一般（非会員）…………… 20,000円（税込み）

正会員・特別会員・賛助会員…………… 17,000円（ 〃 ）

※正会員（若手（30歳未満））割引はありません。

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代（1,200円）を含みます。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

募集人数以内の申込みの場合、参加できる旨ご通知します。

募集人数を超える申込みの場合、本会にて選考し（地域性を考慮しつつ若手の方を優先）、その結果をご通知します。

通知は、6月20日～24日頃を予定しています。

研修料の振込みは、本会からの通知の後にお願いします。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥申込締切日：平成28年6月10日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※参加者が決定した後の取り消し（返金等）については、原則行いません。

※研修料の領収書及び視察資料は当日集合場所にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。

※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

この研修会は、本協会が実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として単位が取得できます（予定）。技術講習会、実地研修会の情報については、全建ホームページをご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

平成28年度 実地研修会 日程 震災復興の現状 ～復興に向けた現在の取組み～

本実地研修会では、東日本大震災の復旧・復興への対応を視察するとともに、復旧・復興への様々な手法（CM方式や事業促進PPPなどの活用）や官公庁等技術者の貴重な体験について学ぶ。

会場 …………… 気仙沼市民会館 2F第1・2会議室
〒988-0073 宮城県気仙沼市笹が陣4-2 TEL:0226-22-6616

(1日目) 開場14:00	平成28年7月14日(木) 【聴講】	(敬称略)
15:00 } 15:40	気仙沼市建設部都市計画課 課長 (独)都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部 気仙沼震災復興事務所 担当役	佐々木 守 忠 藤 重 行
15:40 } 16:20	三陸沿岸道路気仙沼道路「(仮称)気仙沼湾横断 橋」建設事業について 国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 建設監督官	阿 部 進 一
16:30 } 17:10	宮城県東部土木事務所河川砂防第一班 技術次長(班長)	伊 藤 良 樹
17:10 } 17:50	南蒲生浄化センター災害復旧事業について 仙台市建設局下水道事業部 南蒲生浄化センター 所長	加 藤 公 優
<講演終了後、ホテルまで送迎(本部負担)>		
18:30~20:30 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> ホテルパールシティ気仙沼 1F「インセンス」		
(2日目) 集合8:10~	7月15日(金) 【現場研修】	
ホテルパールシティ気仙沼 駐車場(8:40) 出発 → 気仙沼市被災市街地復興土地区画整理事業(下車説明) → 三陸沿岸道路気仙沼道路「(仮称)気仙沼湾横断橋」建設事業(下車説明) → 南三陸町防災対策庁舎(下車見学) → 昼食[南三陸町内] → 州崎地先海岸災害復旧工事(下車説明) → 南蒲生浄化センター災害復旧事業(下車説明) → JR仙台駅(17:20) 着後解散		
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。		

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム(予定)

平成28年度 実地研修会（震災復興の現状）事業の概要

1. 気仙沼市被災市街地復興土地区画整理事業

…………… 気仙沼市

本事業は、市震災復興計画（H23.10.7策定）に位置付けられた復興事業として、鹿折地区・南気仙沼地区・魚町・南町地区で進められている土地区画整理事業です。市震災復興計画における防災減災の考え方に基づき、地区内を低地ゾーン（非住居系）と盛土嵩上げゾーン（住居系）とエリア分けし、まちの早期復興に向け、地権者の合意形成を図りつつ、工事等の推進をはかっています。

鹿折地区・南気仙沼地区盛土嵩上げゾーンではT.P+3.0m～5.5mの盛土嵩上げによる安全な住居系市街地の整備を行い、低地ゾーンではT.P+1.8mの高さを基本とした盛土により商業・工業系市街地の整備を行うこととしています。市の中心市街地を形成していた魚町・南町地区では、魚町地区T.P+1.8m以上、南町地区T.P+1.3m以上の盛土嵩上げを行い、店舗併用住宅を含む商業系市街地の形成を図るとともに一部L2対応の住宅エリアを設け、活気ある商業地及び観光地の早期復興を図ることとしています。

	鹿折地区	南気仙沼地区	魚町・南町地区	計
事業費	約156.8億円	約175.6億円	約136.4億円	約468.8億円
整備面積	約42.0ha	約32.5ha	約11.3ha	約85.8ha

なお、事業の推進にあたっては、まちの早期整備に向けた方策として段階的な工事を大括りし、設計・施工・マネジメントをまとめて発注するCM（コンストラクション・マネージャー）方式を導入しています。

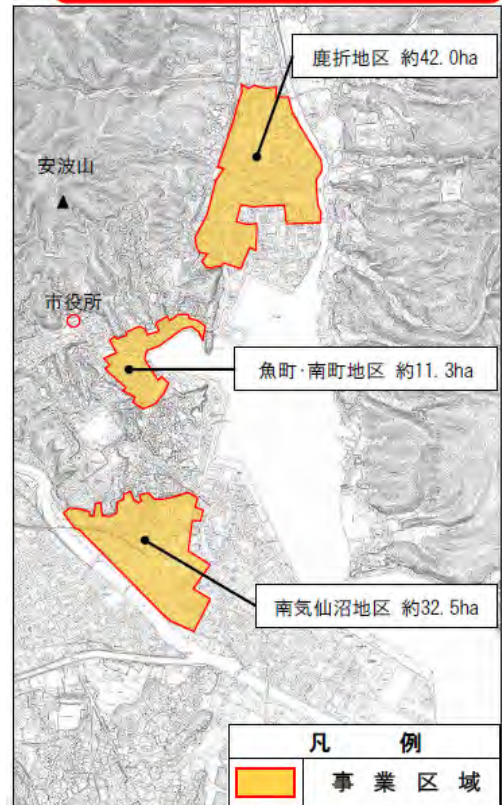


被災状況



完成イメージ

総事業費 : 約468.8億円
 地区数 : 3地区
 総整備面積 : 約85.8ha



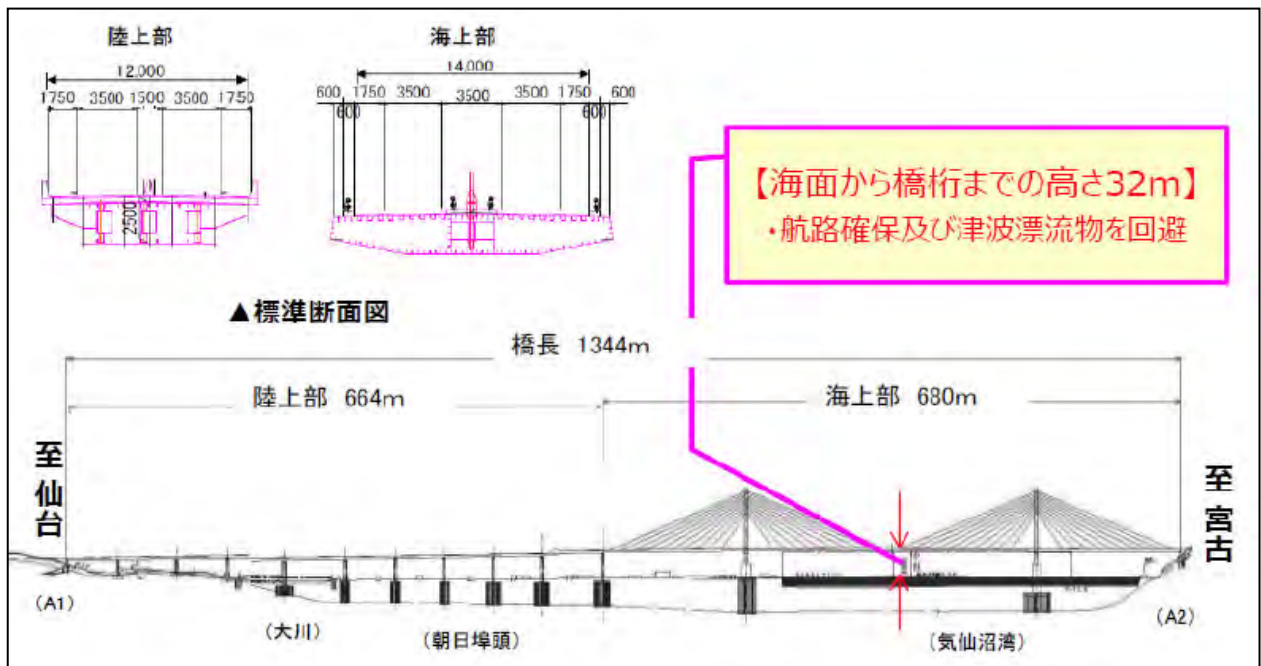
2. 三陸沿岸道路 気仙沼道路「(仮称)気仙沼湾横断橋」…………… 気仙沼市川口町地内他
 三陸沿岸道路の気仙沼道路(気仙沼～唐桑南)は、延長約9kmの自動車専用道路で、平成25年度から改良工事に着工しており、一日も早い供用が望まれています。また、平成26年度より気仙沼道路の主要な構造物で初めての工事である、気仙沼湾を横断する橋梁工事に着工しています。これにより、気仙沼道路の整備が本格的に進むこととなり、なおかつ、事業実施にあたり事業促進PPP活用し、これまで発注者が行ってきた協議・調整等の施工前の業務を民間技術者と一体となって実施するなど、復興道路の早期完成が期待されます。



被災状況



「(仮称)気仙沼湾横断橋」完成イメージ



標準断面図

3. 南三陸町 防災対策庁舎 宮城県本吉郡南三陸町

南三陸町の防災庁舎は、3階建てで高さ12mでしたが、東日本大震災の15.5mの津波により屋上まで津波が達し43人が犠牲となり鉄骨だけが残り残りました。この庁舎は、解体も検討されていましたが、震災遺構として保存されることとなり、「震災を象徴する建物で世界的にも知名度が高い」として、広島市の原爆ドームに匹敵すると評価があり、県は遺族感情や町の財政負担に配慮、震災20年後の2031年まで建物を所有し震災遺構として保存することとなりました。その後、改めて町が保存の是非を判断することとなりました。



津波が引きはじめた様子



その後の庁舎

震災復興計画では、八幡川西側とJR気仙沼線に囲まれた区域を中心に、防災機能を具備し南三陸町の鎮魂復興の象徴として防災文化を育むメモリアル公園を整備するなど、公園・緑地ゾーンとして計画しています。

しかし、区域全体を公園として整備するには、様々な課題があることから、計画の見直しを行っています。



震災復興記念公園
(イメージパース)

4. 州崎地先海岸災害復旧工事 東松島市野蒜字洲崎地内

東日本大震災の大津波を直撃した同地区は、既設堤防や周辺道路が激しく損傷し、背後地では地盤沈下を起こしています。

復旧する海岸堤防高は、津波堤防高（発生頻度が数十年から百数十年に一度程度発生する設計津波（レベル1津波）に余裕高 1.0mを加えた高さ）と高潮堤防高（高潮対策に必要な堤防高さ（余裕高 1.0mを含む））を比較して高い方を採用しております。州崎地先海岸の堤防高は T.P. +7.2m で高潮堤防高により決定しております。（※既設堤防高：T.P. +4.0m～T.P. +6.2m）

今回の災害復旧事業は、上述の堤防高さで、復旧延長が約 2.9km、このうち 2.3km 区間は堤防背後の海岸線を通る県道奥松島・松島公園線（復興道路事業で計画高は T.P. +6.2m）と一体的に整備します。堤防と共に背後道路を嵩上げすることで、道路から海が見える構造にする景観上の対策を行っております。

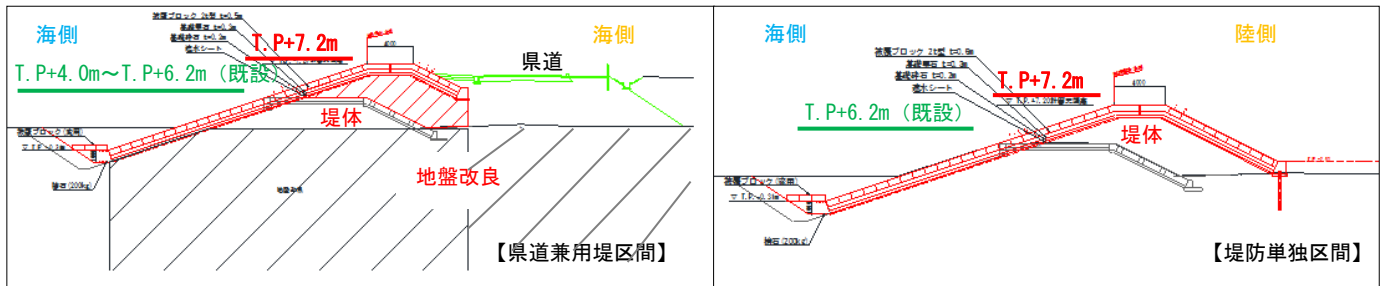
堤防形式は緩傾斜式で、今次津波による被災形態を勘案し、仮に津波が堤防天端を超えた場合でも施設が破壊・倒壊するまでの時間を少しでも長くするといった「減災効果」を目指した構造（“粘り強い構造”）としています。

また、当該箇所が特別名勝「松島」の指定区域内にあることから、災害復旧工事にあたっては所管する文化庁と協議し、特に海側法面に設置する被覆ブロックについては表面処理（擬石ブロックの設置）を行うなど景観に配慮した構造としています。

平成 26 年 4 月から本格着手しており、施工現場の自然環境に配慮しながら、背後地の安全・安心の確保のため早期復興に向けて事業を進めております。



震災直後の様子



標準断面図



復旧の様子

5. 南蒲生浄化センター災害復旧事業 仙台市宮城野区蒲生
- 仙台市南蒲生浄化センターは、仙台市内から発生する汚水の約7割の処理を担う下水処理場です。平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波により、主要な土木、建築構造物が破壊され、機械・電気設備が冠水流失するなど処理機能に甚大な被害を受けました。
- 下水道は、公衆衛生の確保と生活環境の改善、浸水の防除による安全・安心の確保、公共用水域の水質保全など重要な役割を担う都市基盤です。
- 市民に不可欠な下水道サービスを安全かつ健全に提供していくためには、南蒲生浄化センターの早期復旧が最重要課題であり、仙台市、日本下水道事業団、受注者が一丸となり、復旧工事を進めています。
- また、復旧にあたっては、従前の機能回復にとどまらず、地震や津波に強く、環境にも配慮した未来志向型の下水処理場として再生しました。
- 南蒲生浄化センターの水処理施設は、現在、既設の沈砂池、前爆気槽及び最初沈殿池を利用して接触酸化法を用いた暫定処理施設で機能を確保しながら、旧施設である反応タンク及び最終沈殿池を撤去し、約6haの敷地に沈殿池棟、ポンプ・送風機棟、最初沈殿池（2階層）、反応タンク（深槽）、最終沈殿池（2階層）を新しく建設しました。
- 施設のコンパクト化を図りながら、各施設共、天端高をTP+10.4m以上とし、東日本大震災の津波にも耐えうる施設となっています。
- さらに、施設を利用し、太陽光発電や小水力発電を行う予定です。



被災状況



復旧状況

幹旋宿泊及び予約申込案内

宿泊幹旋：参加者には気仙沼市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。

現地の宿泊施設の事情が厳しいため、参加者は全員幹旋宿舎をご利用下さい。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行（株）首都圏営業部 東京団体支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15（JFAハウス5階）「全建担当デスク」迄
（営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の4日前まで	宿泊日の3日前～前日まで	当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後 及び無連絡不泊
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成28年7月14日(木)

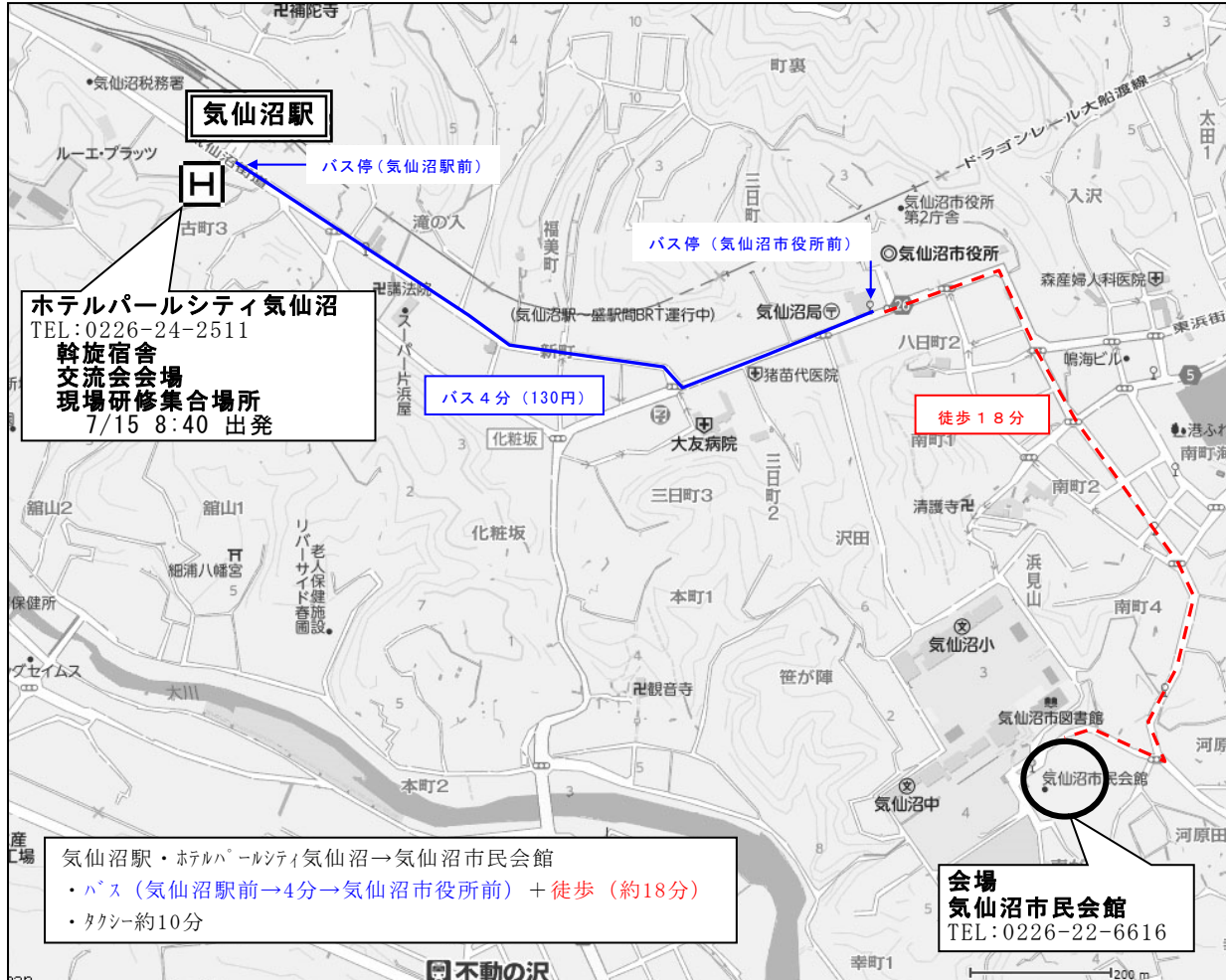
(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	幹旋人数	宿泊代金
ホテルパールシティ気仙沼 気仙沼市古町3丁目2-42 TEL:0226-24-2511	シングル	45名	7,560円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。

また、禁煙ルームの数には限りがある為、ご希望に添えない場合があります。その場合には、消息対応をさせていただいたお部屋となります。

幹旋宿舎及び聴講会場



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
 (特別・賛助会員名、会社名)

平成28年度 実地研修会（震災復興の現状）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講・現場		交流会	宿泊申込 7/14 ○禁 ○喫	選考結果	
(フリガナ) 氏名 <small>(女性の場合は番号に○をつけて下さい)</small>	年齢		一般(非会員)	正・特・賛				
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
※お申し込みされますと、別紙「参加者の条件」に同意されたこととみなします。 ※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。 ※現地の宿泊事情が厳しいため参加者全員幹旋宿舎をご利用いただくこととなります。 (宿泊料は、実地研修料に含みませんのでご注意ください。) ※この実地研修会は募集人数が少ないことから、申込み締め切り後に本部より選考結果を 通知します。研修料のお振り込みは、その後をお願いいたします。 なお、宿泊申込みについて、選考にもれた場合は、自動的にキャンセルになります。 実地研修料 ※この欄は事務局が使用します。 一般(非会員) 名×20,000円＝ 円 正会員・特別会員・賛助会員 名×17,000円＝ 円 計 円						交流会費 2000 円は現地 でお支払 下さい	お昼食 払・お 下茶代 金は 聴講受 付時に	※この 欄は事 務局が 使用し ます

【お申込みについて】

↓本部の通知後に全建に振込

必要事項を記入し、期限までにできるだけメール又は郵送にてお申込み下さい。
 研修料[銀行振込の(写)]は、本会からの通知後にメール又は郵送にて送付願います。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。
 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

【実地研修会の昼食について】

実地研修会の昼食は全員用意いたします。不要の申し出は出来ません。

平成28年度 実地研修会（震災復興の現状）に参加の皆様へ！
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



（一社）全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会研修会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成28年7月14日（木）18：30～20：30（予定）
（実地研修会（震災復興の現状） 講義終了後 ホテルまで送迎（協会負担））

場所：ホテルパールシティ気仙沼
1F「インセンス」

会費：2,000円
（受付時に徴収）

※開催時間は変更が生じることもありますので、開催当日にご案内いたします。
※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
①参加者の知見と人脈を広める（名刺交換） ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
①講師との交流 ②質疑応答など

※都合により内容に変更が生じることもあります。



<問合せ> （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com